

平成 17 年度県民モニター第 4 回アンケート調査（テーマ：環境教育・学習について）  
結果の活用状況等について

環境問題に関する意識や考え方

環境問題の中で最も気になる事からとして、「地球温暖化」が 57.1%と最も多く選択されており、「地球温暖化」への関心が非常に高いことがうかがえます。

今年度、地球温暖化対策に係る環境学習・教育の拠点施設となるエコハウス（仮称）を整備し、開設後は、兵庫県地球温暖化防止活動センターと連携して積極的に活用し、小中高校生、社会人、教師、地域活動リーダー等を対象に、地域、学校、家庭で身近に実践できる地球温暖化対策や最新の地球温暖化防止技術についての体験学習の機会を提供します。

今後、複雑化・多様化する環境問題を解決する上で、『環境教育・学習』が「大変重要になる」が 68.5%と最も多く、環境問題の解決手段として『環境教育・学習』に対する期待が非常に高いことがうかがえます。

これまで「環境の保全と創造に関する条例」を制定し、県民の皆さんの自主的な取組を促し支援するとともに、「新兵庫県環境基本計画（平成 14 年 5 月）」において、環境学習環境教育の推進を基本戦略の実現に向けた主要施策の一つに掲げ、県民の皆さんの環境への意識と理解を深める様々な取組を推進してきました。

環境問題が複雑化・多様化し、その解決が一層困難になる中、多様な主体の参画と協働により、学校、企業、地域等、日常生活のあらゆる場面で環境学習環境教育を更に積極的に展開することが求められているため、今後、平成 18 年 3 月に策定した「兵庫県環境学習環境教育基本方針」に基づき、環境学習環境教育施策を総合的かつ計画的により一層推進します。

『環境教育・学習』で取り組むべき内容・県の役割

『環境教育・学習』が最も効果的な年代としては、「幼児期・小学校低学年」が 39.8%、「小学校高学年・中学生」が 41.5%の回答であり、合計で 8 割を超えます。

また、『環境教育・学習』における県の役割としては、県が特に優先して実施すべきこととして「学校教育における『環境教育・学習』の実施」が 64.8%と最も多く、子どもを対象とした『環境教育・学習』や学校教育の果たす役割への期待が大きいことがうかがえます。

今年度、教育委員会と知事部局との連携を推進するため、知事を本部長とする全庁的な推進体制である「兵庫県環境学習環境教育推進本部」を設置しました。同推進本部の運営にあたっては、本部会議及び本部の運営を支える事務局の会議をそれぞれ年間 4 回程度開催するとともに、県民局ごとに地域本部を設置するなど、同推進本部において、学校教育と連携・協力した施策の総合的・効果的な推進を図ります。その中で、幼児期・小学校における環境学習環境教育のあり方について検討を進めます。

今年度、体験的に環境について理解を深め実践的な態度を育成する環境教育の充実に向けて「ひょうご環境教育実践推進事業」に取り組むこととしており、「環境教育実践推進校」100 校を指定するとともに兵庫の多様な地域環境を活かした体験的環境教育の実践活動を促す副読本を作成します。

また、環境保全活動など実践的環境教育を積極的に推進する優秀校を選考し、その実践内容を発表する環境教育実践発表大会を開催していきます。

## 「ひょうご環境学校事業」について

環境問題を正しく理解するため、「ゴミ問題」や「参加しやすい生活に身近なこと」について学びたいとする意見が多く寄せられたほか、学習方法としては、「学習会や講演会などへの参加」や「野外活動、体験活動を通じた学習」などの意見が多く寄せられました。

体験型環境学習環境教育の機会を幅広く提供するため、環境問題から実践活動につながる講座等を、ワークショップや体験型プログラム等を交えながら実施し、流域を舞台に森・川・海の機能等を総合的に学習する「エコオープンカレッジ事業」等を新たに実施します。また、神戸県民局における「明石川子ども環境会議」や西播磨県民局における「参画と協働によるホテル復活作戦」など、県内各地域の多様な自然・風土を生かした事業や、小学生を対象として家庭でのゴミ排出量をチェックし、自らの創意工夫でゴミ削減に取り組む「生活ゴミ削減推進事業」等、環境学習環境教育事業を幅広く展開していきます。

「母と子の島」の機能強化に向けた整備を行うに際し、新たな「海の体験型環境学習機能」を付加するため、海での自然体験プログラム・環境学習プログラムの作成、実施体制の整備、環境学習センターの整備を行うなど、環境学習環境教育を支える基盤の構築を図ります。

いただいたご意見は、昨年度からモデル的に実施している「ひょうご環境学校事業」を今年度、拡大・再編して実施していく中で、その具体的な事業展開の参考とさせていただきます。